

## 「第3期伊勢市教育振興基本計画（案）」における パブリックコメント結果について

### 1 パブリックコメント実施の概要

- (1) 意見募集した案件  
第3期伊勢市教育振興基本計画（案）
- (2) 意見募集方法  
伊勢市公報、伊勢市ホームページ、伊勢市広報紙、ケーブルテレビ文字放送
- (3) 基本計画（案）の閲覧場所（21か所）
  - ・伊勢市役所 市民ホール（本館1階）
  - ・伊勢市役所 総務課（本館2階）
  - ・伊勢市役所 企画調整課（本館2階）
  - ・伊勢市教育委員会 教育総務課（小俣総合支所2階）
  - ・総合支所生活福祉課（二見・小俣・御薊）
  - ・支所（神社・大湊・浜郷・宮本・豊浜・北浜・四郷・沼木・城田）
  - ・伊勢市立伊勢図書館
  - ・伊勢市立小俣図書館
  - ・生涯学習センター いせトピア
  - ・伊勢市二見生涯学習センター
  - ・いせ市民活動センター
- (4) 意見提出の対象者  
伊勢市内に在住、通勤又は通学している人など
- (5) 意見募集の期間  
令和3年12月24日（金）から令和4年1月24日（月）まで

### 2 意見募集の結果

意見数 6人（8件）

#### 【内訳】 提出方法別

- ・Eメール 5人（6件）
- ・ファックス 1人（2件）

### 3 意見内容及び市の考え

No.	寄せられたご意見	市の考え
1	<p>伊勢では、食育を伊勢市食育推進計画に基づき総合的かつ計画的にとりくみを進めています。その成果は、毎年各学校で研究会を持たれ、交流されることで、様々な実践が報告され、評価されています。「子どもたちが健やかに生きていくためには、健全で規則正しい食生活を送ることが重要です。子どもたちが健全な食生活を実践するためには、食に関する正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく能力を身に付けることが必要です。また、食事の重要性、感謝の心、地域の自然文化や産業等に関する理解を深めるために学校給食を食育の生きた教材として活用することが求められています。学校教育活動全体を通じて食育に取り組むとともに、家庭・地域と連携した取組が必要となります。」と書かれた部分の重要性を強く感じています。私も2度の研究会を経験しましたが、食育を進める中で、地域の方との結びつきが深まり、学校への協理解解も深まりました。子どもたちも、地域の方との交流の中でともに地域の食材を知り、食への関心も高まりました。また、栄養教諭の方や学校栄養職員の方との連携によりさらに専門的な体験学習を進めることができました。食に通ずる文化の盛んな伊勢の子どもたちに、地域を誇りに思える教育を推進していただきたいと思います。栄養教諭の方たちは、国の配置が少ない中でよく頑張っていると思います。伊勢市独自でも食に携わる関係職員の充実をお願いしたいです。そして、豊かな学びの中で、子どもたちが地域を誇れる食育を推進していただきたい。</p>	<p>子どもたちが健やかに生きていくためには、健全で規則正しい食生活が必要であると認識しております。基本施策3 施策1「健康教育・食育の推進」に記載のとおり、食育に取り組んでまいります。</p> <p>また、家庭や地域、関係機関等、食に携わる様々な方と連携して食育を推進することで、子どもたちが地域の食材について知り、食に関する関心も高まると考えております。</p>
2	<p>伊勢では、「伊勢市オリジナルブックリスト「読書ツアー」低学年用・高学年用を全児童に配布（配信）し、子どもたちが読書</p>	<p>読書は、多様な考えや価値観にふれ、豊かな心を育成するために重要であると認識しております。基本施策2 施策4「読書</p>

<p>に親しみ、読書意欲を高めるための取組を推進します。」とあるように、読書指導に各学校でも力を入れています。「読書ツアー」の充実に伴い、子どもたちに適した本が、たくさん図書室に入っています。新しい本を手に取り、喜んでいる子どもたちの笑顔がとても輝いています。さらに学級文庫も充実され、朝の読書を子どもたちが楽しみにしています。学習前の静かな読書週間が身につく、1限目の学習へのとりくむ姿勢もよくなってきています。</p> <p>また、「子どもたちの読書習慣が形成できるよう、学校図書館を活用した授業、読み聞かせ、朝読書、ブックトーク、ビブリオバトル、書に関するイベントの実施、季節や学習内容に合ったコーナーの設置等、多様な読書活動を推進し、読書機会の充実を図ります。」とあるように、読書の授業や委員会活動を通して、様々なとりくみがなされ、子どもたちの読書への意欲が高められてきていると感じています。ぜひ今後ともこのとりくみを推進してください。</p>	<p>活動・文化芸術活動の推進」に記載のとおり、読書ツアーの活用や、図書館スタッフ、ボランティアスタッフ等との連携などにより、読書活動を推進してまいります。</p>
<p>3 伊勢では、「恒久平和を実現していくために、「平和の尊さ」「命の尊さ」を育む教育の推進に努めます。また、広島平和記念式典に中学生の代表を派遣し、この取組をもとに全中学校で平和学習を深めるとともに、恒久平和の実現に貢献する市民の育成をめざしていきます。」とあるように、平和教育は今の子どもたちの大切な教育だと考えます。</p> <p>今年、戦後77年を迎えます。戦中にあった悲惨な出来事をわたしたちは、忘れてはいけません。風化させてはいけない悲惨な出来事を、子どもたちに伝えるとともに「平和の尊さ」「命の尊さ」を教育の場で、絶えず伝えていかなければならないと考えています。子どもたちが自分のこととして捉えられるように学校現場でできる様々な取組</p>	<p>子どもたちが人権について理解するとともに、平和の大切さについて認識できるように進める必要があります。基本施策2 施策1「人権教育の推進」に記載のとおり平和に関する教育の推進に取り組んでまいります。</p>

	<p>を続けていく必要があります。そして、恒久平和の実現に貢献する市民の育成をめざしていくためにも、広島平和記念式典に中学生の代表を派遣し、この取組をもとに全中学校で平和学習を深める取組を継続して行ってほしいと考えます。</p> <p>ぜひ今後ともこれらの取組を推進してください。</p>	
4	<p>教職員が働きやすい環境づくり</p> <p>教職員は子どもたちの学校生活の中で、学習面、生活面、ときには家庭生活と、さまざまな面で関わっています。これら全てのことに全力で取り組むには時間が必要です。プライベートな時間を削って仕事をしている方も多くいます。教職員の生活、健康が心配です。書かれているように、管理職がリーダーシップをとり、適切な学校運営マネジメントを行うことで、教職員の健康が守られますが。そして、それが子どもたちの充実した学校生活につながっていきます。ぜひ、実現できるよう、お願いします。</p>	<p>未来を担う子どもたちを育むためには、教職員一人ひとりが仕事と生活のバランスを取り、元気で意欲をもって子どもたちと向き合うことが重要です。基本施策6施策3「教職員が働きやすい環境づくり」に記載のとおり、管理職がリーダーシップを発揮して適切な学校運営マネジメントを行い、総勤務時間縮減に取り組み、学校における働き方改革を推進してまいります。</p> <p>また、非常勤講師や部活動指導員等の専門スタッフや外部人材、スクールサポートスタッフ等を効果的に学校に配置することにより、指導体制の充実を推進し、教職員の負担軽減・支援の取組を進めてまいります。</p>
5	<p>5P. VII 教職員を取りまく環境</p> <p>教職員の時間外労働について、</p> <p>「月45時間、年360時間を上限とする」こと自体、時間外をなくして教職員の健康と、ゆとりの中での子どもの全体を(成績や外面的な健康のチェックにとどまらない)みてやれる、ゆたかな教育実践がはばんでいます。「在校時間の上限」をあれこれ言う前に、教職員の増員を、市の努力ですすめるべきだと思います。市の役割は、子どもの生きる権利に配慮した教育のための財政的支援に尽きると思います。</p>	
6	<p>○基本施策4 特別支援教育の推進(1)</p> <p>特別支援教育の推進についてです。</p> <p>現状と課題に書かれている、全ての子どもが可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築は、全ての子どもが安心</p>	<p>基本施策4施策1「特別支援教育の推進」に記載のとおり、特別支援教育の推進に取り組んでまいります。</p> <p>また、インクルーシブ教育システムの構築を進めるとともに、全ての教職員が特別支援教育や発達障がいへの理解を進める</p>

	<p>して学べる学校づくりのためにも目指すべき方向だと思います。学習支援員・看護師・教育支援ボランティアなど人的な確保は、インクルーシブ教育をすすめるためにも最も重要なことだと思います。主な取組の一番目の内容に、人的配置・派遣の支援について書かれており、インクルーシブ教育をすすめるためにも心強いです。各校の実態に応じた派遣・支援を今後も重要な項目として続けていただき、施策4を進めていただきたいと思います。</p>	<p>ため、研修会を開催してまいります。</p>
7	<p>○基本施策5 安全で安心な環境づくり (2) 学校安全に関する取組の充実についてです。</p> <p>主な取組にある通学路の安全確保について、伊勢市において児童生徒が大きな交通事故等にあう事案は、最近ではあまり聞きません。これまでに、市教委・学校・警察・県の関係機関等が、連携体制を構築し継続的な通学路の安全確保にむけた取組を続けている成果だと思います。伊勢市では統合により新しい通学路になった学校あるいはこれからなる学校があり、これらの学校の通学路や学校周辺環境において児童生徒の安全を確保していくことは大切だと思います。</p> <p>さまざまな関係機関とのやりとりもあり、対策が難しい箇所があったり、報告書にあがってくる箇所が年々増えたりなどもあり、簡単に数値目標をたてることは難しいかと思います。しかし、対策予定のものについては確実に対策されていくかを確認するためにも、数値目標はなくても第3期伊勢市教育振興基本計画の主な取組として明記していただくのは心強いです。数値目標はない取組も毎年点検・評価、事業改善のサイクルにいれ、確実に進めてほしいです。</p>	<p>安全で安心な環境づくりについて、基本施策5施策2「学校安全に関する取組みの充実」に記載のとおり、学校安全に関する取組の充実、防災・防犯等危機管理体制の整備、通学路の安全確保等の推進に取り組んでまいります。</p> <p>また、各種取組については地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき毎年実施される教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価等により、事業改善を図ってまいります。</p>

8	<p>4P III 人生100年時代</p> <p>●「超スマート社会」を生きぬくために、社会のスピードにおくれない子ども、IT技術にたけた子どもを育てるのが市の基本計画としたら、あまりに貧しい子ども観ではないでしょうか？</p> <p>●日本の子どもは、自己肯定感が低い、また、愛されている実感がきわめて少ない、と多くのデータで明らかになっています。子どもが子ども時代を自然にふれたり実感を伴って学んでいくための視点がないと不安になります。</p>	<p>超スマート社会の到来については、「伊勢市の教育を取り巻く状況」の一つとして記載しております。</p> <p>本市の教育の基本的な方針である伊勢市教育大綱においては、「郷土を愛し、夢と意欲を持ち未来を切り拓く人づくり」が基本理念となっており、本計画では「確かな学力と社会を形成する力の育成」や「豊かな心の育成」など、9の基本施策を取組の基本方針としております。</p> <p>また、ご意見いただきました視点については基本施策2「豊かな心の育成」の他、各種施策において取り組んでまいります。</p>
---	---	--

#### **4 意見募集結果による修正の有無**

修正なし